

# かさかけ 公民館だより

編集  
笠懸公民館編集協力員会  
みどり市笠懸公民館  
発行  
みどり市笠懸公民館

〒379-2311  
みどり市笠懸町阿左美1581-1  
電話：0277-76-2211  
FAX：0277-76-2836  
Eメール：kouminkan  
@city.midori.gunma.jp



▲久保田副会長、箱田会長、富田副会長

令和3年度みどり市笠懸町地区公民館長および主事の委嘱状交付式と第1回笠懸町地区公民館連絡協議会が4月22日(休)に笠懸公民館で開かれました。  
石井教育長の代理で出席した割田社会教育課長から箱田館長(第10区)に委嘱状が交付されました。割田課長はいさつで「新型コロナウイルスの収束が見えないが、地区公民館活動の中心を担っていただき、区

民同士の連携を図り、コロナ禍での豊かな地域づくりをアイディアを出し合いながら、進めて頂きたい」と話していました。  
委嘱状交付式終了後に行われた、第1回笠懸町地区公民館連絡協議会で、本年度の役員が次のとおり、選出されました。(敬称略)

- 会長  
10区 箱田 貴大
- 副会長  
1区 富田 峻佑  
2区 久保田 允隆

その後、笠懸公民館から地区公民館の役割や、今年度の活動計画の確認、各種制度の説明がありました。  
昨年度は新型コロナウイルスの影響で、笠懸町全行政区の納涼祭が中止になるなど、地区公民館での活動もあまりできない状況でした。今年度は、感染対

## 地域活動の中心を担うリーダーに

### 笠懸町地区公民館長・主事を委嘱

策をしながら、さまざまな活動に取り組み、住民と地域をむすぶ拠点として地区公民館が活用されることが期待されます。

### 令和3年度 笠懸町地区公民館連絡協議会名簿 (敬称略)

区	役職	氏名
1	館長	○富田 峻佑
	主事	三木 康正 星 隼人
2	館長	○久保田 允隆
	主事	久保田 直樹 久保田 素幸
		櫻井 伸悟
3	館長	赤石 光史
	主事	藤掛 貴志 森田 広行
4	館長	笠原 健
	主事	萩原 理秀 三輪 信人
5	館長	大坪 純一
	主事	小野 清一 小島 崇司

○会長 ○副会長

区	役職	氏名
6	館長	高草木 亨
	主事	荒木 順一郎 深澤 宏章 石川 雅士
7	館長	尾崎 真也
	主事	金塚 功 本木 祐基 藤原 徹
8	館長	須田 朋幸
	主事	岩崎 隆行 大屋 誠
9	館長	吉澤 直人
	主事	原田 裕明 大澤 稔博 吉田 誉之
10	館長	◎箱田 貴大
	主事	田口 正人 大豆生田 克巳

### 講座延期の案内

6月24日(木)開催予定

「はじめてのかんたんスマホ教室」  
新型コロナウイルスの影響により  
**延期**とします。

開講の際は改めてお知らせします。

笠懸公民館

# コロナ禍の活動を模索

## 第1回利用者の会理事会

令和3年度みどり市笠懸公民館利用者の会第1回理事会が4月27日(火)に開催されました。

主な協議事項は5月27日(木)に開催される予定の定期総会についてです。定期総会は新型コロナウイルスの感染状況や参加人数によ

て開催方法を検討することが決まりました。

また、6月に実施を計画していた公民館の大掃除は中止が決定されました。ただし6月を「おそうじ月間」と定め、各サークルへ普段より清掃を徹底して実施して頂くよう協力依頼するこ

とになりました。  
サークルおためし月間は、今後も継続することと決まりました。

その他、今後の「いこいの広場」は、笠懸公民館のロビーが新型コロナウイルススワクチンの接種会場になっていくため、接種終了後に、改めて行う予定です。  
コロナ禍でいかに生涯学習に取り組んでいくのかが今後の課題として大きな問題となり、終了しました。

# 開催に向けて協議

## 第1回市民講座運営委員会

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、すべての講座が中止となってしまった市民講座。

令和3年度第1回運営委員会が4月8日(木)笠懸公民館で開催されました。

松栄委員長と中山公民館長のあいさつの後、今年度のスケジュールやテーマ、講座内容について話し合われました。

今年度は、昨年度中止になつてしまった内容をそのまま引き継ぎ、年3回(9月、11月、12月)の講座を行う予定となりました。各講座のテーマは、防犯、音楽を通しての人生の貯蓄(オルガンの演奏と講演)、天文学についてです。開催日や詳細は、今後調整し、決定されます。

新型コロナウイルスが早

く収束し、今年度の市民講座が無事に開催できるよう、期待したいと思えます。



▲松栄委員長を中心に議論

# 令和3年度みどり市笠懸地域 高齢者大学受講生募集



6/15(火)  
申込期限

講	開催日	講座概要
1	7月13日(火)	郷土の歴史を学ぶ～日本に誇る笠懸の遺跡～ 岩宿博物館 学芸員 小菅 将夫 氏
2	7月16日(金)	感染症の基礎知識と予防法 群馬パース大学 教授 木村 博一 氏
3	8月24日(火)	脳若マスター！脳の若返りにチャレンジ 株式会社ジーシースタッフ 脳若マスター 林 千秋 氏
4	9月17日(金)	笑いで地域に恩返し お笑い芸人 アンカンミンカン 富所 哲平 氏
5	10月19日(火)	日本中が注目！渋沢栄一を学ぶ 渋沢栄一記念館 解説員
6	10月下旬(予定)	視察研修〈渋沢栄一関係〉(深谷市方面) 渋沢栄一記念館、生家「中の家」など
7	11月16日(火)	オール群馬の酒 酒づくりのお話 群馬産業技術センター 職員

●概要

- 時間 各講座13時30分～15時(視察研修は除く)
- 会場 グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)
- 対象 60歳以上の市内在住・在勤者で、継続的に受講する意志のある方
- 参加費 無料(ただし、視察研修は参加者負担)
- 申込み 笠懸地区老人クラブ(笠老連)会員  
→老人クラブ各区代表会長さんへ  
上記以外の方  
→笠懸公民館へ
- お願い マスク着用、来館前の検温、手指消毒  
健康状態申告書の記入  
人との間隔を1～2m以上あける  
37.5度、平熱+1度以上の発熱や、  
体調が悪いときは参加しない

※新型コロナウイルスの感染状況により変更または中止となることもあります。

# どうなる？笠懸地域文化祭

## 第2回企画広報部会

第2回笠懸地域文化祭企画広報部会が4月15日(木)に開催されました。

コロナ禍ではありますが、群馬県の警戒度を見ながら、イベントの企画を進めていくことになりました。部会で検討を進め、実行委員会に提案する予定です。

協議では、開催時間を例年より短縮する意見や、メイン企画にポチッと君を呼ぶ案などが出されました。

また、沢入サーカス学校の卒業生に、サーカスを披露してもらおうのどうかという意見も出されました。

感染対策として、屋外総合入口で検温し、笠懸公民館とグンエイホールPALの入口に1台ずつサーモ検温器を設置することや、模擬店や即売は芝生広場や通路、パルと公民館の間の芝生広場を利用し、テントの間隔を広くして行うなどの

# 色々な開催方法を検討

## 第1回公民館大会実行委員会

4月28日みどり市多世代交流館(大間々町)多目的ホールにおいて、令和3年度第1回みどり市公民館大会実行委員会が開かれました。

昨年度3月に開催を予定していたみどり市公民館大会は、新型コロナウイルス

の感染拡大のため実行委員会が開けず中止となり、今年度に延期されました。

会議ではまず、公民館大会の開催についてと新型コロナウイルス感染症防止対策について協議されました。委員からは「コロナ禍のこ

案が出されました。

第1回実行委員会は6月下旬に開催する方向で進めることとなりました。今後、会議を重ねより良い開催ができるように進めていきたいと企画広報部員の気持ちは一致しました。



▲真剣な表情で話す部員

令和3年度 みどり市公民館主催「こうみんかん de スタディ」

## ☆学習支援ボランティア募集☆

夏休みの小中学生の自主学習を見守り、手助けしてくれるボランティアを募集します！！

- ◇開催日 7月27日(火)～7月30日(金)  
8月3日(火)～8月6日(金) 8日間
- ◇時間 [午前の部] 午前9時～正午 [午後の部] 午後1時～午後4時  
※ [午前の部]・[午後の部] のいずれか、または両方
- ◇内容 小中学生の自主学習を見守り、分かる範囲で質問に答える
- ◇場所 笠懸公民館、大間々公民館(多世代交流館)、東公民館 3カ所
- ◇対象 みどり市及びみどり市近郊に在住する高校生以上の方
- ◇報酬 1回500円(交通費・所得税込)
- ◇申込期限 6月30日(水)まで
- ◇申込方法 希望する公民館へ、窓口・電話・メールのいずれかよりお申し込みください



※名前、住所、電話番号、年齢、参加できる日程を教えてください  
 ※窓口・電話受付時間：火～日 午前9時～午後5時  
 ※笠懸公民館 TEL 0277(76)2211 Email kouminkan@city.midori.gunma.jp  
 大間々公民館 TEL 0277(76)2310 Email okouminkan@city.midori.gunma.jp  
 東公民館 TEL 0277(97)2721 Email kyoiku-a@city.midori.gunma.jp

◇その他 新型コロナウイルスの感染状況により中止・変更になる可能性があります



# 頼ってください！

## 令和3年度笠懸公民館職員

### 職員

●館長 中山 正之

昨年度から引き続き、笠懸公民館長を務めることとなりました。新型コロナウイルスの終息が見通せない中、従来の公民館活動を再開するには難しい状況にあります。地域の皆さんと一緒にコロナ禍でどのような公民館活動ができるか考えていきたいと思えます。

●副館長 小室 智美

今年で3年目となりました。新型コロナウイルスの影響で今年も公民館活動が厳しい状況です。新しい取り組みや活動の工夫について皆さんと一緒に考えながら、学びを通じて毎日の生活が充実するような環境をつくっていききたいと思えます。よろしくお願います。

●主事 真下 愛美

平成26年度より公民館職員としてお世話になってい

ます。この7年間で私自身、名字が変わったり、たくさんの変化がありました。笠懸公民館では、地域の皆さまと変わらぬ信頼を築けていけたらと思います。今年度もよろしくお願います。

●主事 高野 修平

笠懸公民館へ異動し、2年目となります。コロナ禍でさまざまな制限もありますが、人と人のつながりを大切にし、地域の皆さんと一緒に学びながら過ごしたいと思えます。1年間、よろしくお願います。

●主事補 高橋 梨華



▲高橋主事補

入職1年目の高橋です。地域の皆様と関わることに楽しさを感じながら働いています。まだ未熟な点が多いですが、魅力ある公民館

づくりに貢献できるように精一杯頑張ります。気軽に声を掛けてください。よろしくお願います。

### 会計年度任用職員

●大澤 弘江

会計年度任用職員として勤務して10年目になります。今年も昨年同様、新型コロナウイルスの影響で利用者の皆様にご利用できず、残

念に思いますが、安心、安全にご利用いただけるよう努めていきます。

●井上 ゆかり

会計年度任用職員として勤務させていただいてます。日々、業務を行う中で明るく笑顔で接することを心がけたいと思います。改めて気を引き締めて勤めていきますので、よろしくお願います。

## サークルのつながりを求めた「いいの広場」

### みどり市笠懸公民館利用者の会 Vol.5

コロナ禍で公民館が休館となった令和2年度を別とすれば、ほぼ毎月のように公民館ロビーを会場に「いいの広場」として、コンサートや舞踊、朗読など様々な催しを行ってきました。

始まった背景としては、各利用団体は鍵を受け取ると部屋に入り、終わると鍵を返して帰宅するという流れの中で、利用団体の間の横の繋がりが希薄

になっていくという課題を抱えていました。

そこで、笠懸公民館利用者の会としては「ロビーを有効活用した催しを行うこと」で公民館に訪れた人が立ち止まり、利用者同士の交流が生まれるのではないかと考えました。また、「ダンスや舞踊のバックに、演奏者がコラボできたら素敵だね」といった意見も出されました。

公民館の大切な要素の

●鈴木 亜田美  
昨年度より引き続き、勤務させていただいております。新型コロナウイルスのため、公民館利用に色々変化があると思いますが、その中でも快適に安心して使えるように心がけたいと思います。今年度もよろしくお願います。

### 5面につづく

「つどう」「まなぶ」「むすぶ」なかで、特に「つどう」と「むすぶ」を実践するものとして120回を超えて開催された「いいの広場」。ですが、団体のコラボ出演が少ないことは残念ですが、多くの団体が公民館を利用し学んだ成果を発表する機会になったことは間違いのないと思えます。



職員紹介つづき

●高野 大海

昨年度に続き今年度も会計年度任用職員として勤めさせていただきます。新型コロナウイルスにより通常通りの活動が中々行えない状況ですが、少しでも利用者の皆様が快適に利用できるよう業務に励みたいと思います。今年度もよろしくお願ひします。

シルバー派遣職員

●渡邊 清

今年度も夜間管理業務で、お世話になります。コ

ロナ禍の感染拡大防止対策がとられる中、公民館での活動はいろいろな制約があります。皆さんと協力して、感染を少しでも早く収束することを待ちたいと思います。不便がございましたら、何でも声を掛けてください。1年間よろしくお願ひします。

●伊部 三代治

夜間管理業務を担当させていただきます。皆さまが気楽に活動できますよう、お手伝いさせていただきます。どのようなことでも気楽にお声がけください。

お疲れ様でした、小池さん

前総務部長の小池秀樹さんが、昨年、全国公民館連合会公民館永年勤続表彰を受賞しました。この3月、定年退職された小池さんは、知人ぞ知る社会教育の分野では多くの市民に影響を与えた人だと思ひます。

筆者と小池さんとの出会いは、当時、笠懸公民館で

発行していた笠懸公民タイムスの事務局を小池さんが担当している時からです。「新聞はおごらず、ひるま

ず、かたよらず」の理念を持ち、編集に関わってきた功績は大きいものと思ひます。また、「社会教育とは、自分らしく生きるために学ぶことです」、「公民館は自

貴重な体験学習がスタート！

岩宿の里米っこクラブ

今年度も岩宿の里米っこクラブが始まりました。この事業は1年間を通して、古代米の栽培などの農業や、民俗行事を体験します。

初回は4月24日(土)に開校式と古代米の種まき、サトイモの種植えが行われました。開校式は屋外で行われ、参加者は、16人でした。開校式が終わった後、作業へと移りました。まずは古代米の種まきです。あらかじめ土が半分

入ったトレーに、種を蒔きます。その上に肥料を混ぜた土を平らにかぶせ、水をやり完成です。子どもたちは苦戦しながらも作業をしていました。

次にサトイモの種植えです。あらかじめ耕し、溝を作つてある畑に、子どもたちが種芋を20センチ間隔で並べていきます。その後、肥料をやり、その上に土をかけた終了となりました。



▲上手！親子で種まき体験

防災を考える⑦

「ハザードマップ」

6月は入梅、田植えの前の恵みの雨ですが、昨年の九州豪雨のように大型台風ではなくても大きな被害がでました。梅雨前線が停滞し大量の水蒸気が集まり線状降水帯が発生し局地的に猛烈な雨が降つたためです。これは、どこに住んでいても起きる可能性があります。近くに大きな川がないから大丈夫ではなく、阿左美沼、

子どもたちは「疲れた」「足が痛い」などそれぞれ感想を口にしながらも、最後は満足そうな顔をしていました。

鹿の川沼、用水路でも想定を超える雨が降れば浸水被害がでる可能性があります。ここでお勧めするのが「ハザードマップポータルサイト」です。国土交通省が運営するサイトで、自分の地域でどんな災害が起こりうるのか調べることができます。パソコンやスマートフォンで自宅や職場、通勤通学路のハザードマップを一度確認しましょう。想定は高く、空振りを恐れずに備えましょう。



# 屋外で役員反省会

## 笠懸町婦人会

笠懸町婦人会（曲澤節会長）の役員反省会が、4月21日（水）行われ、12人の役員が参加しました。三密を避けるため、今回は鹿田山散策での反省会です。

新型コロナウイルスの感染を防ぐため、婦人会の活動もほとんどできなくなり、会員同士が顔を合わせる機会も減りました。そんな中、1ヶ月遅れで久しぶりに役員が顔を合わせました。

鹿田山は緑があふれ、山々の木々は風になびき、菜の花もまだ見頃となっていました。

距離をあけて、おいしいお弁当を食べながら一人ひとり1年間の感想や意見等を述べていま



▲きれいな新緑のなかで記念写真

た。昨年度はほとんど活動が無かったので、今年度の活動に向けての話し合いになりました。

その後、沼の周りを歩いたり、山を一回りしたりと、それぞれが久々にゆったりと時を過ごし、おしゃべりに花を咲かせながら楽しく反省会を終了しました。

### コラム 豆電球



「なぜサウナは100度で  
もやけどしない？」

100度のお湯に手を入れば確実にやけどするの  
に、サウナは平気で入って  
いられるのはなぜだろう  
か。

この理由は2つあるよう  
だ。1つは熱伝導率の違  
い。文字通り、熱の伝わり  
方を表す数値のこと。水と

空気を比べると、水は空気  
の25〜26倍も熱を伝えやす  
いようだ。そのため、たと  
えば100度のお湯に手を  
入れるとすぐに手の表面も  
100度になり、やけど  
してしまふ。それに対し、  
100度に熱せられた空気  
の中に手や体をさらしても  
熱が伝わりにくいため、手  
や体の温度は上がらない。

もう1つの理由は、サウ  
ナに入っていると大量の汗

をかくから。汗はすぐに皮  
膚の表面から蒸発し、その  
時に熱を奪う。これは気化  
熱と呼ばれ、皮膚の表面に  
できた冷たい空気の層がサ  
ウナの熱さから体を守ると  
いうわけだ。

ただし、ネックレスなど  
貴金属を身につけたままサ  
ウナに入ると、貴金属の温  
度が上昇し、やけどするこ  
とがあるようなので、注意  
したいものだ。

## こえの ひろば

### 投稿

よこまちだいたいから  
横町太々神楽

ミケ

みどり市指定重要無形文  
化財の「横町太々神楽」は  
昨年引き続き、横町太々  
神楽保存会が行っている春  
季祭典を中止し、4月4日  
（日）に神主による祝詞の奏上  
のみを行いました。

第2笠懸東学童クラブの  
隣にある秋葉神社に伝わる  
横町太々神楽は、100年  
以上に渡り伝承され、毎年  
春と秋の2回、境内の集會  
所で披露される神事です。  
笛、太鼓のお囃子に合わ

の状況ではどうすることも  
できません。  
困ったときの神頼みでは  
ありませんが、秋の神事は  
開催できることを願い、そ  
の時には多くの方に観覧し  
ていただきたいと思います。

せ日本の神話を  
題材に12の演目  
があり、厳粛な  
雰囲気のある神事舞  
からユーモラス  
な興舞と地域の  
方々に親しまれ  
てきましたが、  
新型コロナウイルスの  
感染拡大



▲秋葉神社で祝詞の奏上

投稿

テクテクお城歩き(19)

越前大野城 歩遊人

越前大野城は続日本100名城の一つで、文献によれば1574年に起きた越前の内乱を鎮圧した金森長近に、織田信長がその功により大野郡の土地を与えたという。金森長近は亀山(標高249m)の山頂を削って平坦にして城を築き、城下町の建設に取り掛かったという。城主は長谷川秀一や青木一矩などが務め、江戸期に入ると土井利房が城主となり、以後幕末まで



▲青空に映える天守

土井氏が藩主を務めたという。天守台の石垣は野面積みでその造形美に魅了されます。1775(安永4)年、城下町から発生した大火により本丸を焼失。天守閣は1968(昭和43)年に復元されたといえます。また、晩秋から春にかけて十数回城下町は雲海に包まれ幻想的な「天空の城」

投稿

巡り合わせ

御朱印レディー

少し前、坂本九さんの歌が聴きたくてCDを購入し、しばらく聴いていたところでした。不思議なもので、先日、藤岡市へ行く機会があり、その近くに光徳寺というお寺がありました。そこで御朱印を頂きながら住職が2つの話をしてくれました。

一つは、上毛かるたでもおなじみの和算家「関孝和」の墓地があります。藤岡に所縁がある人なので先代のご住職が東京のお寺から分

が出現するといえます。JR越美北線越前大野駅から城の登り口まで徒歩約20分、さらに天守までの約20分です。城下町は往時をしのばせる七間通りの散策をおすすめします。



骨して頂きました。

もう一つは、日航ジャンボ機墜落事故の犠牲者520人の名前の石碑とお地蔵様のあります。当時夏休み近くの小学校の体育館で、ご遺体を安置していましたが、夏休みが終了となり、

公民館喫茶コーナー

ぺちやくちゃ

休業のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止のため、当面の間、営業をお休みします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●問合せ先

みどり市社会福祉協議会 (76-4111)

光徳寺で約1ヶ月半お預かりをしました。その間、日本航空の職員も24時間常駐していたと話し、「どうぞお参りしてください」と。そこで墓地に行ってみると、一番頂上に、藤岡城を支配した芦田氏の墓地、そのす

ぐ下に関孝和の墓地、またその行く途中に和歌山藩士の植村佐平次(すけひら)の墓地がありました。このお寺にたまたま足を寄せたのは、偶然にも坂本九さんだったのかなあと思いました。

笠懸短歌サークル

四月例会より

免許証を返納せし夫これからは吾に運転を託すとぼつり  
自肅中すれ違ふ人とひと言の会話にころほぐれゆくなり  
老いてなほ意欲満々野良仕事へ足取りかるく桜花仰ぎ行く  
春陽うけ桜花匂ふる長楽寺息との遠出にゆっくりめぐる  
川の流れの流るるままに流さるる時の流れの今を生きつつ  
去年逝きしこの家の人の偲ばるる小屋の軒まで花の溢れて  
釜底の丸みに固まる冷めしをそのまま移す昼の茶わんに

- 上村 征子
- 上山 利夫
- 橋内 文夫
- 久保田 茂子
- 近藤 ふさ子
- 関口 定夫
- 平山 勇





# 四季の会 三月句会



雛飾り三代並び幸あれと

あの人声が大好き春の風

湖へなびく土筆を摘みにけり

よろよろと墳墓に出ずる春の蛇

入彼岸むすめの好物供へをり

ど演歌の小節ころころ春の風

妹見舞ふ花ざんまひの廻り道

春疾風たてうりの旗ちぎれさう

大事なことは言わぬが花よ春の夢

合格の知らせのライン春の虹

わがままな一人ぐらしよ春の夢

木の芽和ほとけの妻に供ふ朝

白椿「おみき」を掛けし枝を切る

春日傘たたむ家元薄化粧

きさらぎや妹との距離をしばしをく

いつの間に牡丹の芽のめだちをり

春風の匂ひは母か妹か

夫の墓ひとりで参る涅槃西風

きさらぎや嫁に感謝の誕生日

ラケット振る幼心や山笑ふ

モノクロの夢に色つけ春の夢

鳥帰る長き道程どこまでも

入彼岸早めに参る子の墳墓

庭先の山菜の花の咲き初むる

雨しとど涅槃掛けたる大古刹

地虫出づ孫は大事に籠に入れ

春風と回転ドアに入る犬

朝食は猫が先よと春の風

大掃除夫の私物のあれやこれ

ケアハウス彼岸団子の届きをり

桜咲く検査入院勉強会

女医さんを慕ふ男やつくしんぼ

佐藤由美香

高野 春蝶

窪田 友美

金井 英磨

高野 光詢

糸井 佳酔

家住 紫香

窪田 劍邦

前原 紫蘭

中谷 邦女

富田 和

多田冬薔薇

糸井 梅光

韓 百日紅

新羅 光海

石原 青蓮

冠 二郎

横倉 二雅

徳田 夕子

糸井 初音

山本 草秋

小林 狐一

吉田 和義

小林 華笑

金井 光順

裾沢 春蘭

村田 紅蘭

東宮 春水

佐藤 小春

須田 仙寿

村田 小町

宇野 勘大

## 追憶 遠き山に

一田四蹴

## 投稿

沼田市歴史資料館で企画展「幻の集落 根利山」が開催されているので出かけてきた。根利山は、足尾銅山を支えてきた集落という。図録によれば「明治31年にこつぜんと現れ、40年の歳月を経て、昭和14年にこつぜんと消えていった集落である」という。

地に廃墟となった赤い屋根のヒュッテ(ヘスキーヤー用の休憩所)が印象に残っている。小法師尾根を登り法師岳(標高1592m)、奥袈裟丸山(標高1958m)を経て皇海山へ向かったが、六林班峠付近で日没になり山中でビバーク、翌日、谷の中に集落を見つけたのが砥沢集落だったと記されている。

私がこの地を初めて踏んだのは昭和37年、背丈を超える六林班峠の熊笹の中に

作業小屋の跡地と思われる場所に鉄索やワイヤーがあつたのを記憶している。紀行文では木暮さんは砥沢集落のYさんにお世話になり、翌日、皇海山山頂に立つたのである。

青春の時を重ねつつ企画展の展示物や資料を観覧したが、当時の砥沢集落の人々の生活を思い馳せれば山奥の中の桃源郷のように思えた。今は、皇海山の懐で静かに時を重ねている。

## ちょっと一息



3月の日曜日、東北へドライブ。10年前、災害ボランティアで通った仲間との毎年恒例の弾丸ツアー。早朝、塩釜漁港で朝食を取る。その後、石巻の旧大川小へ。現在は、震災遺構の保存工事中。そのまま南三陸の防災庁舎をかさ上げされた道路から見下ろしながら通過し、岩手の大船渡まで移動。『かもめのたまご』を買ってから、陸前高田で昼食。復興祈念公園で奇跡の一本松を見て、さらに気仙沼の

震災遺構、伝承館を見学してから南三陸へ戻り、復興商店街で買い物をして帰路につく。いつもは仙台で牛タンを食べて締めになるが、新型コロナウイルス感染拡大のため断念して、途中福島国見SAでさらにお土産を買って、帰ってきたのは日付が変わるころ。インフラ整備も進み、海が見えないくらい高い防潮堤もできた。

毎回、景色が変わっていくが一番変わったのは自分の体力かも。いつまで続けられるのだろうか。(三)